



# Library NEWS

～図書館だより～



## 令和3年度 晃陽中学校図書館



暑い日も増え、夏が近づいていますね。梅雨が始まります。  
外に出られない日は、ゆっくりと読書をして心穏やかにすごしたいですね。

### まだまだ 手を洗いましょう

本を借りる前も

図書館を  
利用した後も



利用の  
まえもあとも手洗いしてね。

すぐ近くの  
西階段に水道があります。  
そこを利用してください。



一方通行を守りましょう。  
前にいる人との距離をとり、  
ソーシャルディスタンスをはかりましょう。



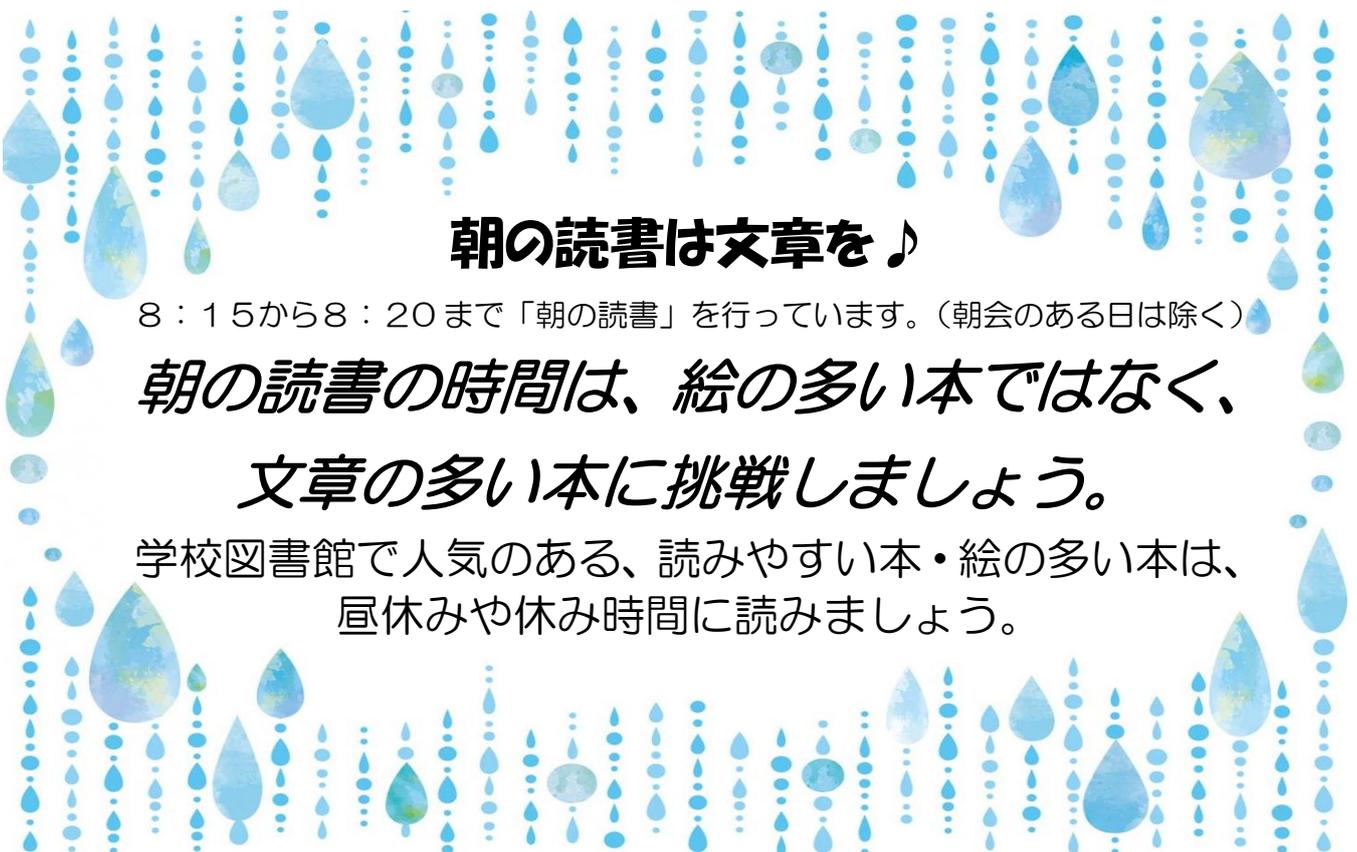
### 朝の読書は文章を♪

8：15から8：20まで「朝の読書」を行っています。（朝会のある日は除く）

朝の読書の時間は、絵の多い本ではなく、

文章の多い本に挑戦しましょう。

学校図書館で人気のある、読みやすい本・絵の多い本は、  
昼休みや休み時間に読みましょう。





## ..... おすすめの本 .....



「向日葵を手折る」 彩坂 美月 著 実業之日本社 445p

父親が突然亡くなり、山形県の山あいの母親の実家に引っ越してきた高橋みのり。分校の同級生と心を通わせはじめた夏、集落の行事「向日葵流し」のために植えられていた向日葵の花が、何者かによってすべて切り落とされる事件が起きる。犯人「向日葵男」の正体は何だったのかが明かされる場面は胸が苦しくなる。「みのりの物語」であると同時に「怜の物語」であり、「隼人の物語」でもある。3人の想いがまじりあい、切ない気持ちになる青春ミステリー。



「罪の声」 塩田 武士 著 講談社 409p

昭和最大の未解決事件「グリコ森永事件」を元に作られた話。「これは、自分の声だ」京都でテーラーを営む曾根俊也は、ある日父の遺品の中からカセットテープと黒革のノートを見つける。ノートには英文に混じって製菓メーカーの「ギンガ」と「萬堂」の文字。テープを再生すると自分の幼いころの声。それは31年前に発生して未解決のままの「ギン萬事件」で恐喝に使われた録音テープの音声。小栗旬・星野源というキャストで映画化され話題に。これが真相なのかも知らないというリアリティ。気迫が伝わってきてドキドキする本。



「本屋のミミ、おでかけする!」 森 環 著 あかね書房 63p

本のことならおまかせという本屋のミミ。お客さんにピッタリの本を見つけてくれる。昼はお店、夜は読書で、ずっと本と一緒に。お店の外に出るのが怖くて絵描きさんのスケッチの誘いもことわってしまう。その絵描きさんからケガでしばらくお店にこられないという手紙が。心配したミミは、勇気を出してお見舞いへ行くことに。本に夢中の子が外の世界も楽しめるように成長する物語。勇気が出る絵本。



「大家さんと僕」 矢部 太郎 著 新潮社 128p

87歳の大家さんは上品で優しくとても可愛らしい。大家さんとの“二人暮らし”の日々。挨拶は「ごきげんよう」好きなタイプはマッカーサー元帥で牛丼もハンバーガーも食べたことがない。矢部さんとのジェネレーションギャップも微笑ましい。一緒に旅行するほど仲良くなった大家さんとの“二人暮らし”がずっと続くと思っていたが？ 大家さんとの交流を描いた笑いあり涙あり奇跡の実話漫画。